

令和7年度 大阪府立福井高等学校 第1回学校運営協議会

1 会長あいさつ

昨今学校教育の場にばかり注目されるが、社会教育や家庭教育の大切さにも注目されたい
社会の動きに惑わされず、「生徒のため」の教育活動に注力されたい

2 校長あいさつ

今年度の入学者状況について

昨年度、本校を正しく知って入学していただけるよう、ミスマッチを防ぐ広報活動に注力
切れ目のない進路指導に、今年度さらに努めたい

本校の弱みと強みについての、教職員研修の複数回実施

表面的な指導でなく、家庭教育ともリンクした指導の考察

3 運営協議会委員・事務局員紹介

※裏面参照

4 事務局より報告

資料番号	報告項目
1	学校経営計画及び学校評価
2	広報活動方針
3	新入生アンケート速報
4	入学者選抜・退学者数報告
5	生徒指導の状況
6	進路実績と進路希望調査
7	活動支援部方針・部活動加入状況
8	多文化共生プロジェクト
9	大阪府立福井高等学校 学校運営協議会 実施要項

1 ひとり一台端末の利活用

コミュニケーションの機会づくり

入学生徒をしっかり支援できる学校組織づくりを

2 一校ひとりの出身中学校が半数ほどを占めている

茨木市内出身生徒の割合増 原点に戻っての地元公立高校

3 授業は落ち着きているが、「積極的に」が次の課題と考える

4 入試選抜に関して

退学者について

出口を見据えた、教育活動の再考

5 「指導」ということば文字の捉え方について

「わかりやすい生徒指導」の構築に、学年横断・組織全体で努める

6 昨年度末時点の進路状況について

7 教職員のスキルアップに関する取り組みについて

部活動の参加率について 今年度は増傾向

学校行事について 生徒の主体性増傾向

8 生徒状況の概要について

今年度の取組みについて

5 質疑応答

平野委員：

- ・大学生にとっても、地域地元の財産となっている
- ・公立私立の時代のなか、「生徒としっかりとしたコミュニケーション」に努められる学校がどれほどあるかと考える
- ・選択授業（必修授業）のさいごにでも、短時間での学びあいの時間を導入してみてはどうか？
- ・学びあえる総合学科の実現により向くのではないだろうか

梶西委員：

- ・「多様」を大切にする学校であることの、福井高校の存在意義を本日再考した

中野委員：

- ・自分が行きたいと思って選んだ学校に通うことのモチベーションの高さに驚く

勝部委員：

- ・生徒を学校全体でよく見ていることがわかった
- ・地域を含めて、すべての要望に応えるでなく、学校組織で見極めを
- ・教職員間の成功体験の共有をどんどん行ってみてはどうか？

校長：

- ・ミドルアップ、組織全体の底上げ
- ・本校のグランドデザイン、追って共有いたします

令和7年度 大阪府立福井高等学校 学校運営協議会委員（敬称略）

番号	名 前	職 名
1	勝部 幸	元福井高校校長
2	平野 智之	追手門学院大学教授
3	梶西 学	「福井高校を育てる会」会長 茨木市立北中学校長
4	塩田 寛	福井地区自治振興会
5	福田 正幸	茨木市健康福祉部 支援員
6	中野 貴代美	本校PTA会長

事務局

番号	名 前	校務分掌等
1	村林 隆志	校長
2	梅本 修平	事務長
3	山村 宏昌	教頭
4	曾根 康介	首席・教務主任
5	村上 雄哉	生徒指導部長
6	川端 直子	進路指導部長
7	河野 竜也	活動支援部長
8	野村 達記	地域連携広報部長

今後の予定 第2回 令和7年10月29日（水）10時～ [校長室]

第3回 令和8年2月4日（水）10時～ [校長室]